

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	バリアフリー化の推進	施策No	02-09	部課名	福祉部障害者福祉課	課長名	山形 実	内線	2680
関連部課名	福祉部障害者福祉課・都市整備部都市計画課								
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市[]							
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]							
目的	だれもが安心して生活することができるよう、様々なバリアフリー化を推進し、暮らしやすいまちづくりを行う。								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値(28年度)			
	新バリアフリー基本構想策定の進捗率（再掲）	-	-	60%	70%	100%	区全体基本構想策定：60%、重点整備地区別計画策定：1地区につき10%増		
	コミュニティバス運賃補助者数	14,321	17,146	21,583	18,932	-	平成22年度は年間見込数		
	エレベーター補助実施数	0	1	0	1	-	整備駅箇所数		
	福祉タクシー券交付人数	2,841	2,865	2,874	2,642	-	平成22年度は6月1日現在		
現状と課題（指標分析）	○障がい者の日常生活の利便性向上や社会参加の促進のためには、交通のバリアフリーが必要不可欠である。 ○区市町村事業のエレベーター整備補助については、JR三河島駅の整備をもって整備完了となる。しかしながら、都道府県事業である地下鉄については十分でない部分もあることから、今後も状況の把握が必要である。								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○障がい者の日常生活上の移動手段を確保する等、今後も継続して交通のバリアフリーを推進していく。 ○都道府県事業である地下鉄駅のバリアフリー化や、都電荒川線電停の段差解消等、今後も状況を把握するとともに、区としても、東京都に対し働きかけていく。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民のだれもが安心して外出できるよう、駅や道路等のバリアフリー化を推進する。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
福祉タクシー事業	06-05-32	100,574	99,979	継続	継続	現状の規模で実施する
リフト付自動車利用助成事業	06-05-33	2,697	1,773	継続	継続	現状の規模で実施する
コミュニティバス障がい者利用負担助成	06-05-34	1,515	1,720	継続	継続	現状の規模で実施する
福祉のまちづくり・鉄道駅エレベーター等整備支援事業	06-05-76	25,920	-	重点的に推進	重点的に推進	多数の人が利用する駅において、障がい者のみならずエレベーター整備は必要である
バリアフリー整備促進事業（再掲）	09-01-07	(48)	(7,747)	重点的に推進	重点的に推進	高齢者等の移動や施設利用の利便性を確保するための最優先の事業である
合 計		130,706	103,472			